

場所： 国際文献社 4F 会議室

日時： 2017年2月8日(水) 15時30分—18時00分

出席者 松田、上野、鈴木、縫村、矢吹(遠隔)、澤田、堀、兒玉、川嶋

メール委任状： 青木、太田、藤田、大前、山岸

理事会議題：

0. 議長選出 定足数(10名)確認。支部長より上野へ指名があった。議事次第の確認を行った。

### 1. 支部賞進捗状況 (鈴木)

2月28日まで論文賞および活動賞の推薦を募集中。現在、後者しか推薦がないので積極的な応募を。

選考委員長が選考委員を選任中であり、締め切り後に結果を同委員会にて決定し、3月中旬に理事会に結果報告がある予定。応募内容はHPにも掲載予定である。

### 2. 2016年度 事業および決算報告 (宍戸 ※上野が代行、鈴木)

実施(予定)の事業(積雪断面観測会(2月11日)、サイエンスアゴラ2016、ホームページ・メーリングリストの運営、大雪シンポジウム、表彰制度創設、理事会・総会開催)に関して説明があった。いずれも順調に実施された。

大雪災害の情報収集・市民による積雪調査に関しては、来年度に委員会を立ち上げ、クラウドファンディングなどの予算を模索する(松田)。

GIS研修会は、来年度のJPGUにて実施予定。(縫村)

ニューズレターは発行せず、各事業報告を学会機関紙やHPへの掲示することを促す。(上野)

未執行予算は、年度会計報告までに早急に執行を希望する(上野)。

### 3. 2017年度 事業および予算 (宍戸 ※上野が代行、鈴木)

以下の事業を推進する計画とする。必要予算は各事業から希望を募る。

＞市民参加型の積雪調査

＞GIS研修会

＞サイエンスアゴラ2017

＞断面観測講習会(北信越支部との共催)

＞シモバシラ(析出氷)の観察会

＞理事会・総会開催

＞メーリングリスト・HPの更新

＞表彰制度の継続

主担当者は新年度の理事体制にて決定する。

#### 4. 支部内規の改定と新理事選出方法（松田）

松田支部長より他支部の内規を参考にし、役員選出プロセス等を簡素化する改定案が提出され、更に内規改訂は総会承認事項ではあるが5月総会での事後承認を想定し、本改定案に沿って新役員を選出してはどうかとの提案がなされた。審議の結果、総会での事後承認を想定した進め方には問題ありとの意見が出、さらに内規改訂原稿が現行内規と一致しないとの指摘があったことから、本件は継続審議とし、兒玉総務を加え検討することになった。

#### 5. 2015/2016年度運営組織の確認

現行の役員のうち、理事の松田、上野、澤田、宍戸、川嶋、大前、監事の太田、隅谷氏らは内規により交代する。その他の現行役員は続投をお願いする（自前での推薦書の提出を依頼する）。

#### 6. 理事選挙の段取り（上野）

新役員を選出は以下の方法で実施することが確認された。

- 1) 選挙公示を本日付けで行う。2月24日までに推薦書を募る。
- 2) これと並行して、理事会推薦者を協議する（本日）。
- 3) 2月下旬に推薦人集計を行い、投票用紙を作成する。
- 4) 公示内容に沿って、20名以下の応募者の場合は無投票で新理事候補者を決定し、公示する。
- 5) 総会にて新理事候補者の承認を行う。

#### 7. 理事会推薦者の協議（全員）

理事会として新理事に推薦したい人を協議し、本人に打診する担当理事を決定した。

担当理事は、推薦の是非に関して幹事長まで連絡を入れる事。

幹事長（上野）は推薦結果のとりまとめと結果の報告・公示を行う。

#### 8. 次回理事会・総会の予定（上野、兒玉）

5月までに新年度の理事会・総会を設定する。（担当者：兒玉）